

## 中期経営計画の進捗状況（平成25年度）

共立蒲原総合病院

## 目 次

1	人材の確保	(第4章)	.....	1
2	入院の状況	(第5章)	.....	6
3	外来の状況	(第5章)	.....	8
4	収支の状況	(第6章)	.....	9
5	経営指標	(第6章)	.....	12

1 人材の確保（中期経営計画 第4章 4. 人材の確保）

(1) 医師

○ 医師数の状況 (単位：人)

年 月	常勤 (人数)	非常勤 (常勤換算)	合計
平成25年4月	17	6.21	23.21
平成26年4月	18	6.38	24.38
増 減	1	0.17	1.17

○ 医師の就退職の状況 (単位：人)

	常勤	非常勤
就職（4／2～4／1）	1	10
退職（4／1～3／31）	0	3
増 減	1	7

(実 績)

➤ 常勤医師 内科（健康診断センター） 1人採用（平成26年4月1日付）

➤ 非常勤医師 (単位：人)

採用ルート	診療科	採用	退職
大学医局派遣	眼科	2	
	外科	1	
	小児科		1
	麻酔科	1	2
業者紹介	外科（当直）	2	
	麻酔科	1	
その他	眼科	1	
	心療内科	1	
	放射線科	1	
合 計		10	3

(取組内容)

- 医科大学教授や医局への要請（管理者、院長、事務長による訪問） 9回

≪内訳≫

順天堂大学医学部附属静岡病院 3回（H25/6/7、H26/2/12、H26/2/19）

聖マリアンナ医科大学 3回（H25/7/10、H25/11/27、H26/2/18）

東京慈恵会医科大学 1回（H25/6/10）

山梨大学 1回（H26/1/30）

横浜市立大学 1回（H26/1/30）

- 医師紹介会社への登録 20社 紹介件数 17件
- 医師・看護師招聘担当専門員の配置 1人（平成23年度から）

≪業務内容≫

医師・看護師紹介会社との交渉並びに採用時の手配及び案内

研修医赴任時の案内及びその手続き

院長及び事務長等の大学訪問の手配

- ホームページへの掲載

(2) 看護師

○ 看護師数の状況 (単位：人)

	平成25年4月	平成26年4月	増減
正規職員	150	152	2
臨時職員	18	18	0
パート職員	23	29	6
合計	191	199	8

(実績)

- 採用 21人 (正規 13人、臨時・パート 8人)

○ 看護師の就退職の状況 (単位：人)

	平成24年度	平成25年度
就職 (4/2～4/1)	22	21
退職 (4/1～3/31)	14	13
増減	8	8

※ 身分切替者 (正規職員から臨時職員・パート職員等) を含まない。

(取組内容)

- 奨学金制度の活用 (平成23年度から施行)

○ 奨学金貸与者 (看護学生) の状況 (単位：人)

		平成24年度	平成25年度
奨学金貸与者		8	10
内訳	1年生	3	0
	2年生	0	6
	3年生	5	3
	4年生	0	1

奨学金貸与者のうち3人を平成26年4月1日付で採用した。

- 給与制度 (処遇改善) 特別昇給 1年1号ずつ4年間 (平成24年度から)
- 院内保育所 (平成24年4月再開) 平成25年度月平均保育児童数 18.3人

(3) 医療技術員

○ 医療技術員数の状況

(単位：人)

職 種	平成25年 4 月			平成26年 4 月			増 減		
	病院	健診	計	病院	健診	計	病院	健診	計
薬剤師	10		10	9		9	△ 1		△ 1
臨床検査技師	13	4	17	13	4	17			
放射線技師	9	7	16	9	6	15		△ 1	△ 1
理学療法士	12		12	13		13	1		1
(うち訪問理学療法士)	(2)		(2)	(2)		(2)			
作業療法士	4		4	6		6	2		2
言語聴覚士	2		2	2		2			
栄養士	3	2	5	3	1	4		△ 1	△ 1
臨床工学技士	3		3	3		3			
医療安全管理・技監	1		1	1		1			
合 計	57	13	70	59	11	70	2	△ 2	0

(実 績)

- 採用 3人  
理学療法士 1人、作業療法士 2人
- 退職 2人  
放射線技師 1人、薬剤師 1人
- 異動 1人  
栄養士 1人 (介護老人保健施設へ異動)

## 【成果】

### (1) 医師

11人（常勤医師1人、非常勤医師10人）を採用でき、3人（非常勤医師）が退職した。

眼科外来について、年度当初は週1日であったが、6月から週2日、7月から週3日の診療となった。

当直専従非常勤医師を2人採用でき、常勤医師の勤務負担軽減を図ることができた。また、入院患者を主な対象とする心療内科を開設することができた。

### (2) 看護師

平成23年度から制度施行した奨学金貸与者が10人であり、3人を平成26年4月1日付で採用した。

平成24年度から再開した院内保育所の保育児童数が月平均18.3人であった。

正規職員が2人の増となり、看護師全体でも8人の増となった。

### (3) 医療技術員

育児休業による欠員補充のため作業療法士1人並びに診療報酬改定によるリハビリテーション対象患者増が見込まれるため理学療法士1人及び作業療法士1人を採用した。

## 【今後の取り組み】

外科、整形外科及び脳神経外科の常勤医師の増員を図ることにより一般病床の利用率を向上させ、また、非常勤医師体制による診療科においては、常勤医師の確保に努める。

医科大学教授や医局への要請については、近隣大学や在籍医師の関連大学を訪問し、さらなる関係構築を図る。

看護師においては、看護学校を訪問することや看護学生就職セミナーに参加することにより、急性期病棟は7対1看護体制を維持し、地域包括ケア病棟は看護職員配置加算（10対1看護体制相当）を取得するための必要数を確保していく。

## 2 入院の状況（中期経営計画 第5章 1. 入院）

### (1) 一般病床

#### [亜急性期]

	H25(計画)	H25(実績)	増 減
病床数 (床)	10	10	—
利用率 (%)	80.0	55.3	△ 24.7
診療単価 (円)	30,000	29,823	△ 177
収 益 (千円)	87,600	62,509	△ 25,091

#### [急性期]

	H25(計画)	H25(実績)	増 減
病床数 (床)	133	133	—
利用率 (%)	85.0	74.0	△ 11
診療単価 (円)	38,900	39,370	470
収 益 (千円)	1,605,140	1,500,578	△ 104,562

#### [一般病床収益合計（亜急性期＋急性期）]

	H25(計画)	H25(実績)	増 減
収 益 (千円)	1,692,740	1,563,087	△ 129,653

### (2) 療養病床

	H25(計画)	H25(実績)	増 減
病床数 (床)	60	92	32
利用率 (%)	93.0	88.5	△ 4.5
診療単価 (円)	19,000	18,931	△ 69
収 益 (千円)	386,973	449,084	62,111

※ （実績）平成25年11月から92床で稼働した。



### 【成果】

一般病床については、前年度と同様に亜急性期10床、急性期133床での運用となった。

亜急性期については、対象となる患者が少なく、診療単価も前年度よりは増加したものの計画には届かなかったため、収益が計画よりも大幅に下回った。

急性期についても、診療単価は計画を上回ったが、常勤医師が前年度よりも2人減となった影響もあり利用率が伸びず、収益が計画よりも大幅に下回った。

療養病床については、年度当初は1病棟60床で稼働し、利用率もほぼ100%であった。また、他院からの紹介や院内からの転棟要請が増加傾向にあったため、平成25年11月から稼働病床を32床増床し、2病棟92床の稼働とした。増床により全体の利用率は下がったが、収益は計画を上回る結果となった。

### 【今後の取り組み】

平成26年度診療報酬改定により、亜急性期病床が廃止され、新たに「地域包括ケア病棟」が新設された。この病棟への患者様を院内からの転棟だけでなく、近隣病院から受け入れるためにさらなる病病連携を図り、当院の特長であるケアミックスを生かし、各病床（病棟）の利用率アップに努める。

急性期については、利用率を上げるため常勤医師の確保に努めるとともに、薬剤師の服薬指導の充実を図ることなどにより、計画どおりの診療単価を維持していく。

また、療養病床については、計画どおりの利用率を維持していく。

### 3 外来の状況（中期経営計画 第5章 2. 外来）

#### (1) 稼働診療科

内科、神経内科、呼吸器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科（透析）、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、心療内科

#### (2) 患者数及び診療単価

	H25(計画)	H25(実績)	増 減
患者数 (人/日)	360	357.6	△ 2.4
外来診療日数 (日)	244	244	—
外来単価 (円)	10,300	10,227	△ 73
収 益 (千円)	904,752	892,371	△ 12,381

#### (3) 救急医療

(単位：人)

	H24(実績)	H25(実績)	増 減
外来患者数	3,199	2,928	△ 271
入院患者数	844	883	39
合計	4,043	3,811	△ 232
1日平均	11.1	10.4	△ 0.7

#### 【成果】

稼働診療科については、計画どおり開設している診療科を維持することができ、さらに平成25年7月から心療内科を開設することができた。また、眼科については、年度当初は週1日であったが、6月から週2日、7月から週3日と診療日を拡大させることができた。

患者数について、常勤医師の体制となった皮膚科及び診療日拡大となった眼科は増加した。しかし、その他の科は減少しているため計画を下回り、診療単価も計画を若干下回る結果となった。

#### 【今後の取り組み】

稼働診療科の維持及び高齢者の受診要望が高い内科や整形外科の診療日の拡大に努める。また、外科常勤医師を確保することにより、現在、辞退している富士医療圏第二次救急医療輪番制（外科）への再加入を目指し、救急患者の積極的な受け入れを図っていく。

4 収支の状況（中期経営計画 第6章 1. 収支の目標）

(1) 収益的収入

（単位：千円）

款 項 目 節	H25(計画)	H25(実績)	増 減
病院事業収益	4,217,225	4,229,195	11,970
医業収益	3,239,411	3,199,882	△ 39,529
入院収益	2,079,713	2,012,171	△ 67,542
急性期病床	1,605,140	1,500,578	△ 104,562
亜急性期病床	87,600	62,509	△ 25,091
療養病床	386,973	449,084	62,111
外来収益	904,752	892,371	△ 12,381
その他医業収益	90,832	105,874	15,042
他会計負担金	164,114	189,466	25,352
医業外収益	418,578	463,719	45,141
他会計負担金	366,725	346,767	△ 19,958
その他医業外収益等	51,853	116,952	65,099
附帯事業収益	559,236	565,594	6,358
健康診断センター収益	513,242	517,892	4,650
訪問看護ステーション収益	45,994	47,702	1,708

## (2) 収益的支出

(単位：千円)

款 項 目 節	H25(計画)	H25(実績)	増 減
病院事業費用	4,348,510	4,403,700	55,190
医業費用	3,675,482	3,712,748	37,266
給与費	2,482,393	2,453,056	△ 29,337
給料	871,734	846,002	△ 25,732
手当	718,530	704,099	△ 14,431
法定福利費	315,097	307,393	△ 7,704
退職給与等負担金	152,821	133,147	△ 19,674
賃金	422,874	460,853	37,979
報酬	1,337	1,562	225
材料費	415,084	392,158	△ 22,926
薬品費	237,809	197,482	△ 40,327
診療材料費	174,709	187,482	12,773
医療消耗備品費	2,566	7,194	4,628
経費	514,908	612,417	97,509
減価償却費	214,258	193,551	△ 20,707
資産減耗費	10,100	53,447	43,347
研究研修費	11,739	8,119	△ 3,620
医業外費用	169,636	154,616	△ 15,020
支払利息	81,234	81,234	0
保育所運営費	22,677	19,410	△ 3,267
看護師養成費	1,080	1,800	720
繰延勘定償却	6,520	8,440	1,920
その他医業外費用等	58,125	43,732	△ 14,393
附帯事業費用	503,392	534,598	31,206
健康診断センター費	455,714	485,924	30,210
訪問看護ステーション費	47,678	48,674	996
特別損失	0	1,738	1,738
その他特別損失	0	1,738	1,738

## (3) 病院事業収支

(単位：千円)

款 項 目 節	H25(計画)	H25(実績)	増 減
病院事業収益	4,217,225	4,229,195	11,970
病院事業費用	4,348,510	4,403,700	55,190
収 支	△ 131,285	△ 174,505	△ 43,220

## 【成果】

平成23年度から始まった中期経営計画の3年目、また、平成25年3月の同計画追補版策定後の初年度であり、着実に当該計画を実施することに努めた。

「入院収益」は、11月から療養病床を32床増床させ92床となったことから収益増となったが、急性期病床及び亜急性期病床が収益減となり、全体では計画を上回ることができなかった。「外来収益」も診療単価及び患者数の減により計画を上回ることができず、「医業収益」では、計画額より3,900万円余の減となった。また、病院と健康診断センター等の附帯事業との間での給与費等負担金の振替等により、「その他医業外収益等」が計画よりも6,500万円余の増となった。以上のことから、「病院事業収益」は、計画額よりも1,197万円の増となった。

一方、療養病床増床に伴い「賃金」及び「経費」が計画額よりも増加した。また、固定資産の精査により「減価償却費」は減少したが、「資産減耗費」が増加した。以上のことから、「病院事業費用」は、計画額よりも5,519万円の増となった。

この結果、実質単年度純損失は、約1億7,400万円となり、計画額よりも約4,300万円増加した。

5 経営指標（中期経営計画 第6章 2. 経営指標）

収益性

指標	計算式	単位	自治体平均 H21年度	H25年度 (計画)	H25年度 (実績)	増減
医業利益率	$\frac{\text{医業利益}}{\text{医業収益}}$	(%)	△ 17.3	△ 13.5	△ 16.0	△ 2.5
医業収益に対する医業利益の割合を表す指標。プラスは医業利益、マイナスは医業損失を示します。比率が高いほど良いとされています。						
経常利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{医業収益}}$	(%)	△ 2.6	△ 4.1	△ 5.4	△ 1.3
医業収益に対する経常利益の割合を表す指標。プラスは経常利益、マイナスは経常損失を示します。比率が高いほど良いとされています。						
薬品費比率	$\frac{\text{薬品費}}{\text{医業収益}}$	(%)	14.5	7.3	6.2	△ 1.1
医業収益に対する薬品費の割合を表す指標。比率が低いほど良いとされています。						
人件費比率	$\frac{\text{給与費}}{\text{医業収益}}$	(%)	64.9	76.6	76.7	0.1
医業収益に対する給与費の割合を表す指標。比率が低いほど良いとされています。						
委託費比率	$\frac{\text{委託費}}{\text{医業収益}}$	(%)	9.8	10.3	9.6	△ 0.7
医業収益に対する委託費の割合を表す指標。比率が低いほど良いとされています。						
経費比率	$\frac{\text{経費}}{\text{医業収益}}$	(%)	7.9	6.5	9.6	3.1
医業収益に対する経費（委託費を除く）の割合を表す指標。比率が低いほど良いとされています。						

機能性

指標	計算式	単位	自治体平均 H21年度	H25年度 (計画)	H25年度 (実績)	増減
外来入院比	$\frac{1 \text{ 日平均外来患者数}}{1 \text{ 日平均入院患者数}}$	(倍)	1.59	2.04	2.04	0
1床当たり1日平均 外来患者数	$\frac{\text{外来患者延数}}{365 \text{ 日} \times \text{稼働病床数}}$	(人)	1.39	1.19	1.12	△ 0.07
患者1人1日当たり 入院収益	$\frac{\text{入院診療収益} + \text{室料差額等収益}}{\text{在院患者延数} + \text{退院患者数}}$	(円)	35,753	33,219	31,169	△ 2,050
患者1人1日当たり 入院収益 (室料差額を除く)	$\frac{\text{入院診療収益}}{\text{在院患者延数} + \text{退院患者数}}$	(円)	35,262	32,219	30,371	△ 1,848
患者1人1日当たり 外来収益	$\frac{\text{外来診療収益}}{\text{外来患者延数}}$	(円)	10,514	10,300	10,227	△ 73